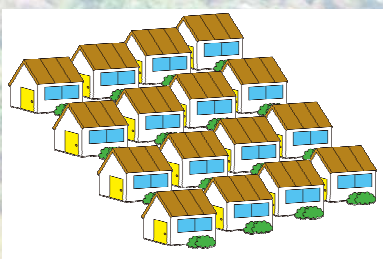


ダムは、水を有効に利用して発電も行っています！

岩手県で管理している8つのダムのうち、滝、入畑、早池峰、綱取、鷹生、日向ダムの6つのダムで水力発電を行っています。この電気は、ダムの管理のために利用しているほか、東北電力を通じて各家庭にも供給されています。ダムによる水力発電は、石油などを燃料とした火力発電などと比べ、CO2排出量が非常に少なく、地球に優しい発電方法です。

消費電力(年間)
約5,765世帯



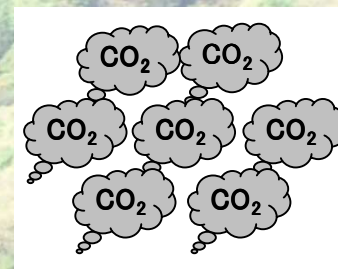
一般家庭の消費電力
に換算すると...

ダムの発電量(年間)
約24,264,000kwh



火力発電で発電
するよりも...

CO2削減効果(年間)
約17,737t



森林の二酸化炭素
吸収量に換算すると...

森林面積
3,326ha



原油量(ドラム缶)
約29,481本分



ダムの発電量を
原油量(ドラム缶)
に換算すると...

ダムの貯水池面積
330ha

この森林面積はダムの貯水池面積より約10倍広く、盛岡城跡公園に換算すると361個分に相当します。

※ダムの年間発電量：約24,264,000kWhは平成21年度の実績。1世帯あたりの年間総消費電力量：4,209kWhは財団法人省エネルギーセンターホームページより。電力の原油換算率：0.243は財団法人エネルギー総合工学研究所ホームページより。CO2削減効果：731g-CO2/kWhは資源エネルギー庁ホームページより。森林の二酸化炭素吸収量は林野庁ホームページより(50年生のスギで算出)。